

3 特色 授業づくりをサポートする教科書

この教科書の 作りを見てみよう

ドラえもんが目印の「見方・考え方」をページ上部に大きく示し、各学年の学習の最初に、児童も先生方も「見方・考え方」についてしっかり確認できるようにしています。

社会科のくわしい**学習の進め方**については、**18ページ**かかっています。

時間ごとに、学習のめあてをしめしています。

広がりに注目
ドラえもんが目印のマークを活用して、社会科の学習を進めましょう。働かせる見方・考え方によって、4種類のマークがあります。

時間に注目
時間ごとに、学習のめあてをしめしています。

関係するところに注目
ドラえもんが関係するところを注視して、学習を進めましょう。

くらべる、分ける、まとめる、つなげる

1 県の広がり

つかむ
わたしが住む宮城県について話し合い、学習問題をつくりましょう。

宮城県はどのようなところにあるかな。

日本の中の宮城県 そうたさんたちは、自分たちが住む宮城県について、地図帳を見ながら気づいたことを話し合いました。

「宮城県は、東北地方にあって、東は太平洋に面しているよ。」
「まわりには、岩手県、秋田県、山形県、福島県があるね。」
「太平洋側には漁港がたくさんあるんだね。」
「蔵王山は、家族で遊びにいったことがあるよ。宮城県の山には、ほかにもどのようなものがあるのかな。」
10 そうたさんたちは、次に、ぎもんに思うことを話し合いました。
「仙台駅にいつもたくさんの人が集まっているのはどうしてかな。」
「宮城県の田は、どのあたりに広がっているのかな。」
11 そうたさんたちは、話し合いをもとに、学習問題をつくりました。また、何をどのように調べるか、学習計画を立てました。

まなびのポイント
自分たちが住む宮城県について知っていることや地図帳を見て気づいたことを伝えよう。

学習問題
わたしたちの県の地形や都市の位置、交通、産業などには、どのような特色があるのでしょうか。

左ページには、教科書見開き紙面の縮刷を提示し、本時のめあてや学習問題などの基本的な要素をわかりやすく示しました。

まなびのポイント
学習のポイントとなる活動をしめしています。

学習問題
みんなが気づいたことやぎもんに思ったことをもとに学習問題をつくり、学習を進めていきます。

New 特色3 1 「この教科書の作りを見てみよう」

各学年の冒頭に、「この教科書の作りを見てみよう」を新設し、教科書の見開き紙面の基本的なつくりをわかりやすく示しました。右ページには、「まなび方コーナー」や「ひろげる」のもくじなども示し、各学年の冒頭で、児童も先生方も教科書の作りをわかりやすく確認できます。

教科書には、社会科の学習を進める上で活用できるさまざまなふりがほかにあります。

ことば
その時間ごとのキーワードです。時間ごとに必ずかかんにして、学習のまとめの活動に生かしましょう。

用語解説
むずかしい言葉をわかりやすく説明しています。

教科関連マーク
このマークがあるところは、ほかの教科の内容とかかわりがあります。

まなび方 コーナー

社会科の学習のために大切な、「まなび方」をしょうかいするコーナーです。

見る・聞く・ふれる	表す・伝える
地図帳を使ってみよう……8	しょうかいパンフレットをつくる……31
インタビューのポイント……106	図にまとめる……46
現地を見て歩く……113	ノートにまとめる……87
インターネットを活用する……141	マイ・タイムラインをつくる……88
読み取る	表に整理する……105
地勢図を読み取る……21	調べたことを紙しばいにまとめる……122
土地利用図を読み取る……23	要点を伝える……139
しゅくしゃくを使って地図を読み取る……25	
表を読み取る……55	
等高線を読み取る……114	

右ページには、見開きのキーワードを示した「ことば」や用語解説などを説明するとともに、「まなび方コーナー」と「ひろげる」のもくじを提示し、それぞれの各学年全体における位置やタイトルを確認できるようにしています。

ひろげる 学習したことをもとにさらに調べたいことや、主な事例の代わりなどをしめた、参考のためのページです。

くらしをささえる電気……50	地震からくらしを守る……90	地いきの産業をおこす……125
くらしをささえるガス……52	火山災害からくらしを守る……92	地いきの医りようにつくす……126
下水のしよりと利用……70	地いきで学校をつくる……124	地いきの文化を受けつぐ……128

まなび方についても、しっかりかかんにしていこうね。

QR「この教科書の作りを見てみよう」
動画で教科書の作りについて確認することができます。

この教科書の作りを見てみよう

この教科書の作りを見てみよう
4年 P.2-3

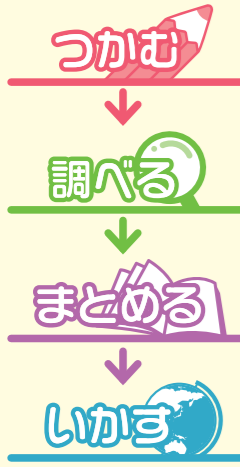
特色1 資質・能力を確実に育てる
特色2 子供の学びを広げる
特色3 授業づくりをサポートする
学びを広げるその他の特色
デジタル関連商品・指導書

問題解決的な学習を促す「学習の進め方」

各学年の最初の単元に、問題解決的な「学習の進め方」を例示しています。定評ある「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」の学習段階をたどりながら、「主体的・対話的で深い学び」を実現する学習の進め方を具体的に示しています。

社会科の 学習の進め方

学習問題をつくり、
学習の進め方を確認しよう。



つかむ
気づいたことや疑問に
つたことを話し合い、
習問題をつくろう。

学習問題について予想し、
何について調べるかを話し
合ってみましょう。

川の水辺で遊ぶと
ころがたくさんある
のではないかな。

川の水面よりも低い土地
が多いので、水害が多いの
ではないかな。

昔から堤防をつくる
など、水害からくらし
を守る取り組みをして
きたのではないかな。

川の豊かな水を、
農業に生かしている
のではないかな。

みんなでつくった 学習問題

学習問題
大きな川に囲まれた海津市に住む人々のくらしや産業には、
どのようなくふうがあるのでしょうか。

- 学習問題** について予想しよう
- 堤防以外にも、水からくらしを守るくふうがあるのではないかな。
 - 水が豊富なので、米づくりなどの農業がさかんなのではないかな。
 - 川の水を生かして、水辺などで楽しむところもあるのではないかな。

- 調べる** こと
- 水害からくらしを守るくふう…輪中の歴史と水害防止の取り組み
 - 低い土地での水を生かしたくらしや産業のくふう…農業を中心とした水の生かし方

まなびのポイント を活用して学習の見通しをもとう。

海津市の地形は、
どのようになっているのかな。

ドラえもんが目印です 社会科の 見方・考え方

- 位置や広がり** に着目
- どのような場所にあるのかな。
 - どのように広がっているのかな。

- かかわり** に着目
- どのようなつながりがあるのかな。
 - どのようなくふうがあるのかな。
 - どのように協力しているのかな。

- 時間** に着目
- いつごろ始まったのかな。
 - どのように変わってきたのかな。

- 比べる、分類する、
総合する、関連づける**
- ちがいがあがるか比べてみよう。
 - いくつかの種類に分類してみよう。
 - 学習したことを総合したり、関連づけたりしてみよう。

問題解決的な
学習の流れを
わかりやすく提示
「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」の学習の流れについて、それぞれの学習段階ごとに留意することや活動等を具体的に例示し、問題解決的な学習をわかりやすく進められるようにしています。

「見方・考え方」
「見方・考え方」について、四つのドラえもんのイラストと、それぞれの問いの例を示しています。

**見方・考え方と
まなびのポイント**
の学習活動を参考にして、
社会科の学習を進めて
いきましょう。

まなびのポイント と ふり返ろう

学習活動を示している
まなびのポイント

について、それぞれの
学習段階に合わせた活
用のしかたを示し、

ふり返ろう

の欄では
学びのふり返りを促し
て、学習を深められ
るようにしています。

調べる
いろいろな方法で
調べよう。

みんなで協力して
調べよう。

- 調べ方**
- 教科書を使って調べる**
- 見出しを見て、関係がありそうなところの本文を読む。
 - 特に、その土地の人が話していることから、くふうや努力、思いや願いなどを読み取る。
 - 写真、地図、グラフや表などの資料からも、必要な情報を読み取る。
- 教科書以外で調べる**
- 海津市や、市の資料館などのホームページで調べる。
 - 現地の人や関係する人などに、メールや電話でたずねる。たずねるときには、失礼のないよう、ていねいな言葉で質問する。



- ふり返ろう**
- 自分の調べ方や考えを友だちと比べてみよう。
 - まだ分かっていないことやもっと調べたいことを考えよう。

まなびのポイント を活用して話し合ってみよう。

まとめる
わかったことや考えたことを
まとめよう。

- 学習問題について、調べてわかったことをまとめよう。
- 学習したことをふり返って、自分の考えや感想をまとめよう。

- まとめ方**
- 調べたことを、ノートやカード、図や表などにまとめよう。
 - わかったことをまとめるときは、教科書の**ことば**をヒントにしよう。

- ふり返ろう**
- 自分の疑問は解決したが、自分の予想が確かめられたかふり返ろう。
 - 学習したことをもとに、自分たちの生活のしかたを考えよう。
 - 学習をふり返り、残された課題がないか考えよう。

まなびのポイント を活用して学習を深めよう。

いかす
学習したことを
次の学習や生活にいかそう。

- 学習したことをもとに、自分の生活の中でできることを実践したり、しょうらいに向けた提案をしたりしてみよう。
- 学習したことをもとに、ほかの学習（ひらけるのページ）にも目を向けてみよう。

● 学習の進め方をたしかめよう



「学習の進め方を
たしかめよう」
動画で学習の進め方について確認することができます。

● 学習の進め方
5年上 P.24-25

特色3 学習の基礎・基本が定着する「ことば」

見開きのキーワードを「ことば」として提示し、学習のまとめで活用できるようにしています。また、「ことば」の欄には、見開きの学習内容をふまえた説明文を付し、ふり返って学習のまとめでも活用できるようにすることで、学習の基礎・基本が定着するようにしています。

「ことば」の主な例

<p>ことば</p> <p>公共しせつ 学校や市役所、じどう館や公園など、みんなのためにつくられたたて物や場所を公共しせつといいます。公共しせつは、みんなが使う場所なので、大切にしようするひつようがあります。</p> <p>3年 P.13</p>	<p>ことば</p> <p>文化ざい 地いきには、人々が大切に伝えてきた文化ざいが残されています。中には、国、県、市などがしっかりとはぞんじていくことを決めたものもあります。</p> <p>4年 P.99</p>	<p>ことば</p> <p>費用 生産、輸送、はん売などの活動に対して支はられるお金のことで、米がわたしたちのところにとどくまでには、多くの費用がかかります。</p> <p>5年上 P.87</p>	<p>ことば</p> <p>大和朝廷 大和地方の豪族たちが、4世紀ごろに大王を中心にまとまってつくった政府です。大和朝廷が各地に勢力を広げるのにもなって、国としての日本の形がだいにできあがっていきました。</p> <p>6年歴史編 P.21</p>
---	--	---	--

「まとめる」段階では「ことば」を活用して調べたことを整理しています

学習を「まとめる」段階では、小単元で学習した「ことば」を改めて示し、それらの「ことば」を活用してまとめるように促しています。

まとめる

調べたことをふり返り、明治維新での世の中の変化についてまとめましょう。

学習問題 を確認しよう

明治維新では、どのような人々が、どのように世の中を変えていったのでしょうか。

まとめる活動に「ことば」を生かそう

● 開国 ● 富国強兵 ● 文明開化 ● 自由民権運動 ● 大日本帝国憲法

① 学習問題について調べたことを整理しよう。

れんさんたちは、調べたことを年表に整理して、明治維新では、どのような人々によって、どのようなことが行われたのかをふり返っています。

年	主なできごと
1854	日米和親条約
1858	日米修好通商条約
1867	幕府が政権を朝廷に返す
1868	五箇条の御誓文
1869	版籍奉還
	電信開始(東京・横浜間)
1871	新学制の制度
	新編書業
1872	学制公布
	鉄道開通(新橋・横浜間)
	官制改革
1873	徴兵令
	地租改正
1874	自由民権運動
	国会開設の請願書を提出
1877	西南戦争
1881	国会開設を約束
1889	大日本帝国憲法発布
1890	国会開設

大久保利通は、版籍奉還や廃藩置県を行い、政府の力を強めるようにした。また、近代の工業を育てるためのさまざまな政策を行い、官営工場などが開かれた。

板垣退助は、国会を開いて広く国民の意見を聞いて政治に生かすように主張し、自由民権運動の中心となって活躍した。

伊藤博文は、明治天皇から初代内閣総理大臣に任じられ、大日本帝国憲法作成の中心となった。

② 明治維新でどのように世の中が変わったかについて話し合おう。

れんさんたちは、ふり返ったことをもとに、学習問題についてのまとめをしています。明治維新では、世の中がどのように変わったといえるでしょうか。

開国後、欧米に追いつくために、経済力と軍事力を強くしようとした。富国強兵という政策でした。

工業をさかんにし、徴兵令を定めたりしました。欧米から学んだことをいろいろ取り入れていました。

国の収入を安定させるために、地租改正を行いました。

人間の自由平等を説く新しい考え方や、学制という新しい教育の制度が生まれ、人々の考え方や生活にも変化が生じました。

国会を開くことや、憲法をつくることなどを求める自由民権運動が各地で起こりました。

大日本帝国憲法が発布され、天皇を中心とした近代国家のしくみが整えられました。

③ この時代の変化に最も大きなえいきょうをあたえたと思う人物を一人選び、その理由を発表しよう。

わたしは()を選びました。

なぜなら、

④ みんなの意見をふまえて、明治維新では、人々がどのような世の中をつくらうとしていたのか、自分の考えをまとめよう。

6年歴史編 P.114-115

学習した「ことば」を活用して調べた事を整理したり、自分の考えをまとめたりしています。

特色4 学習の技能や方法をていねいに示した「まなび方コーナー」

「まなび方コーナー」を適所に設け、具体的な学習の技能や方法を、各学年の発達段階をふまえて、ていねいに示しています。「一人一台端末」の活用をふまえた「まなび方コーナー」も積極的に提示しています。

まなび方コーナー

動画しりょうの見方

動画を学習に生かす

- 動画しりょうを通して見て、どのような内ようのかかかんにする。
- もう一度動画しりょうを見る。大事なじょうほうだと思つところで一時ていして、ぎもんに思つたことや調べてみたいことをメモしながら見るとよい。



● 学習のはじめに見てみよう (くらしを守る) 3年 P.89

動画しりょうの見方

まなび方コーナー

話し合いのしかた

資料や立場をもとに考え、話し合う

社会科では、テーマについて調べた資料(根きよ)をもとに話し合ったり、生産者や消費者など、さまざまな立場に立って考え、話し合ったりすることが大切です。

- 食料生産の新たな取り組みについて調べた資料を用いてしょうかいしよう。
- さまざまな立場から食料生産の新たな取り組みの大切さを考える。
- 自分の考えを伝えるだけでなく、おたがいに質問したり、意見を出したりして、話し合う。

● 話し合いのしかた 5年上 P.122

まなび方コーナー

インターネットで調べる

外国の人々の生活を調べる

- 調べたい国の大使館や政府観光局のウェブサイトやウェブサイトで調べる。
- 教科書にあるコードからアクセスできるデジタルコンテンツの資料を活用して調べる。
- 地図アプリケーションを使って、その国の様子を見る。
- その国に住んでいる知り合いなどにメールで質問したり、オンラインで話を聞いたりする。

● インターネットで調べる 6年政治・国際編 P.65

まなび方コーナー

図にまとめる

ちがいや共通点を図に整理する

- 重なり合う二つの円を書く。
- 天然林と人工林の主な働きのうち、どちらかだけにあてはまるものを、それぞれの円の中に書き入れる。
- どちらにもあてはまるものは、円の重なり合う部分に書き入れる。
- 図の全体を見て、ちがいや共通点について考える。

● 図にまとめる 5年下 P.110

まなび方コーナー

しょうかいパンフレットをつくる

コンピューターを使って県の特徴をパンフレットにまとめる

※コンピューター(タブレットなど)を使わない場合は、紙に直せつ地図や写真をはってつくります。

(1) 見開きのしょうかいページをつくる。

白地図に県の特徴をまとめ、説明をか。

色分けしたり、イラストを入れたりすると、わかりやすくなります。

見開き

① そうたさんがまとめたパンフレット

平野の山や川は、米づくりにかかっています。

東側には三陸海浜があります。観光にもまかされています。

仙台市を中心に市街地や交通路がまかっています。

宮城県は、仙台市を中心に、山と海の自然をまかした産業が発達している県です。

(2) 表紙とうら表紙をつくる。

県の特徴を表したタイトルや画像を入れる。

うら表紙は好きな内容をかきましょう。

調べたときに使った写真などを入れましょう。

タイトルを決めましょう。

(3) 両面印刷し、紙を半分に分けて完成させる。

うら表紙

表紙

宮城県 クイズ

① 宮城県の人口は? 県: 約130万人 い: 約230万人 う: 約330万人

② 宮城県の県花は? 県: ミヤギノハギ い: レンブツクリ う: クサギ

③ 宮城県のキャラクターは? 県: にぎり鳥 い: むすびん う: はげ鳥

4年1組 高橋 そうた

● しょうかいパンフレットをつくる 4年 P.31

まなび方コーナー

想像図を読み取る

縄文時代と弥生時代のくらしを比べて考える

- まず、何を表している想像図のかを確認する。実物や写真などの資料とちがひ、想像で補ってえがかれていることに注意する。
- 衣食住や人の様子など、最初に視点をはっきりさせてから読み取る。
- 丸印などをつけ、着目したところがわかるようにする。
- 読み取ったことをもとに、縄文時代と弥生時代を比べて、似ているところやちがうところ、疑問をもったところを整理する。
- なぜ変化が起きたのかを考え、これからどのようなことが起こるのかを予想する。



● 想像図を読み取る 6年歴史編 P.12-13